

Vol.34

# 新 まるとみ新聞

newspaper  
'14 Feb.

発行所  
北九州市若松区本町 1-1-33  
丸富産業（若松区役所前）  
Tel.093-751-1081

すまい<sup>de</sup>スマイル  
14年2月号

## 住まいの歴史 HISTORY OF LIFE

近年の住宅は高気密・高断熱をうたった省エネ住宅がほとんどです。気密性が高いだけに計画的な換気システムとセッ

換気方法は大きく3つ

## 気密住宅と換気のカ・ン・ケ・イ。

近年は戸建て住宅でも気密性の高い住宅施工が一般的ですが、一時期問題となつたシックハウス対策のため、2003年から24時間換気システムの設置が義務づけられました。それ以後建てられ

換気しないと湿気がたまりカビの原因になるんだよ！



た住宅では強制的な機械給排気が行なわれていますが、その換気方式は大きく分けて、第1種換気（機械給気↓機械排気）、第2種換気（機械給気↓自然排気）、第3種換気（自然給気↓機械排気）の3種類です。

ドアや窓が重くなる訳

そのうちもっとも多く採用されるのは、屋内に数か所の自然給気口を設け、排気ファンで換気を行な



う第3種換気。ところがコレ、室内が負圧になりやすいのが難点。寒いからと給気口を閉じたり、フイルターがホコリで詰まったりすると給気より排気が増える

正圧ぞんざい

第2種換気は逆に正圧になり、室内の空気が外に押し出さ

古い住宅も強制換気を

換気の方法にはさらにタイプがあり、給排気を同時におこなうファンや、給排気の際の熱口スを抑えるもの、空気の排出をダクトでおこなう方法などなど。

家の上にあるのになぜ屋根は「根」？



一日一本一家一屋一名称アレコレ  
調査その⑥「屋根と壁」

日本の家は昔も今も雨湿気との戦いなのだ。



西洋との比較で日本のすまいを考える、まずその大きなちがいは建築資材。西洋ではモルタルや石、レンガですが、日本は木を組み合わせてつくりま

西洋では良質な石が調達しやすかったというのがあります。一方、日本は高温多湿な気候。吉田兼好も「家のつくりやうは夏をむねとすべ

し」と書いたように、雨と夏の暑さをしのぐことが大きな課題でした。わが国最初の住居ともいえる竪穴式住居は地面を浅く掘り、そのくぼみに柱を建てて簡単な骨組みをつくり、上から屋根をかぶせたようなかたち。外から見れば

ほとんど屋根だけの家。屋根は家のでっぺんにあるのに「根」という字が使われるのは、こんな風にもともと屋根が根（地面）に接していたからだそう。意外なことに関東・中部地方以北では平安時代ごろまでつくられていたとい

わたせる技術が発達したというわけ。結果的に西洋はまず、壁を築いて個室をつくる「壁」の家、日本は最初に木のフレームを組んで大きなワンルームをつくり、あとから空間を仕切る「柱」の家となりました。また、日本の民家の特徴は屋根にあるといわれるように、雨水を効果的に流すための勾配や深い軒がまるで傘のよう。大きくて、独特の美しさをもつと世界でも高い評価を得ています。

トコロ変われば

パキスタンの風を取り込む画期的装置

家の上にきよきよと装置が並んでおもしろい。



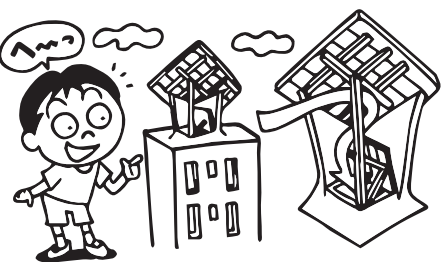
インドの西隣、パキスタンは古代四大文明のひとつであるインド文明が栄えた国。南部のシンド州は、世界遺産のモヘンジョ・ダロ遺跡

があることで知られています。そのシンド州のハイデラバードというまちに、一風変わった仕掛けをもつ家があります。この辺りは砂漠地帯

で一年中暑いうえ、海に近いためとても蒸し暑い気候。ただ、砂漠の特徴として昼夜の寒暖差が大きく、夕方には涼しい風が吹いてきます。そこ

で人々は家の屋上に「ハワ・ダン」と呼ばれる風受け装置を設置して、インドス川やアラビア海から吹く涼しい風を家の中に取り込んでいくというわけ。ハワ・ダンは、四角い煙突をタテ半分に割ったような風洞に木のふたを取りつけただけの簡単なつくり。風の量をふたの開閉で調節するのですが、夜などは

風受けを閉めないと寒いくらい風が入ってくるという。時間指定とはいえない、電気のないエアコンのようなものでしょうか。一軒の家にいくつものハワ・ダンが設置されているので、その光景はちょっと独特のシルエツト。夏は40度を超える



ダンは、エアコンに劣らない画期的な装置といえそう。夏は40度を超える

スキルアップ  
「シルバークレイ」

シルバークレイ（純銀より純度が高い）



銀粘土と呼ばれる素材を使って、誰でも手軽に純銀製のアクセサリーが作れるのがシルバークレイの魅力。ふつうの粘土のように自由に成形できるので、難しい技術も高価な道具も不要です。

かたちができたら乾燥させ、家庭用ガスコンロなどで焼くだけで、純度99.9%の純銀アクセサリーのできあがりです。初心者向けのキットなども販売されているので、まずはシルバークレイの指輪などを

つくってみるのもいいかも。世界にひとつのシルバークレイなアクセサリーですね。銀粘土技能認定資格もあるようなので、アーティストをめざすのもアリかもしれません。

すまいる家族

